

芝浦工業大学機械工学科同窓会会報

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学機械工学科同窓会

総会／懇親会の案内 令和6年10月12日 豊洲キャンパス
(オンライン開催あり)

機械工学科同窓会 会長就任挨拶

同窓会会長 長谷川 健嗣
1982年卒(昭和57年卒)



を拝命いたしました。

機械工学科同窓会との係わりは、(卒業した瞬間から同窓会会員ではあるのですが)かれこれ30年位前まで遡ります。現職の会社で管理職になった頃、機械工学科の学生が欲しくて植木先生の研究室を訪ねました。私は4年次の卒論で外研：東京医科歯科大学医用器材研究所 精密機械部門にお世話になったのですが、学内の窓口であったのが金属の研究室(田中實先生)で、そこにおられたのが植木先生でした。

この様な訳で植木先生を訪ねたところ「分かった誰か紹介してやる。その代わり、お前の代の幹事が地方に転勤になるのでお前がやれ、それが条件だ。」との約束で、卒業生を紹介して頂き、同窓会の会計監査を仰せつかりました。1996年から1997年頃だったと思います。

この日から、2019年2月まで会計監査を務めるのですが、この間、第5代会長 畠中 総一郎 先輩から「長谷川君、ご苦労さま。会計監査だけやってないで皆と一緒に仲良くやろう。」と言って頂き、現在ある同窓会の活動に加わりました。

第8代会長 高木体制(2019年2月～)からは副会長を拝命し今般の会長就任に至っております。

今後、活動を進めて行くにあたっての抱負ですが、

畠中先輩、高木先輩が培って来られた「暖かいアットホームの集い」を継承しつつ、会員の皆様とのコミュニケーションの増進と会員拡大を図って参りたいと思っております。

役員には、私より若い方にも入って頂いておりますが、現役メンバーゆえ多忙を極める中での活動であり、高木先輩と赤坂先輩が副会長として残って下さったことで何とか回っている状況です。もちろん、幹事会には多数の諸先輩方の出席を賜りご意見を頂いているところです。

ここ何回かの幹事会・総会ではWEB会議システムを併用して開催をしております。WEB会議での出席の方の人数はまだ限定的ではありますが、外出困難の中での顔を拝見、また、術後の元気な顔を拝見できるなど想定外の効用があることに気づきさせられました。このような会議システムを用いることにより遠方の同窓の皆様との距離を縮め、幹事会を各地に赴いて行うのも楽しいのではないかと密かに思っているところです。

そのためには、まず、この活動を多くの同窓の皆様知って頂く必要があります。

昨今では、先生方のお力添えを得て新卒業生へ同窓会登録への基礎情報の入力をお願いしております。この情報をもとに「同窓会会報」の発行(アクセス方法)をお知らせしています。一人でも多くの同窓の皆様活動を知って頂き、また、ご賛同頂くことで登録会員数が拡大することを願っております。

以上を持ちまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。



2023年10月総会・懇親会(豊洲校舎学食)

コロナ禍の活動を振り返る 剣道部OB 進木 正博(平成元年卒)

芝浦工業大学剣道部OB会は、機械工学科同窓会と同年、2011年に校友会の支部に承認され、錬心会支部として活動しています。飯島OB会長(昭和54年機械工学科卒)の元、約300名の会員が、大学剣道部への支援とともにOB・OG同士の旧交を温めています。

2019年11月には、芝浦工業大学剣道部 創部60周年式典を開催しました。2020年に予定されていた東京オリンピック開催を見越して、1年前倒しで開催し、全国より沢山のOB・OGに出席いただき、盛況の中で執り行われました。

喜びも束の間、年が明け2020年になると、横浜港停泊のクルーズ船で集団感染騒ぎがあり、3月に予定をしていた卒業生送別会や支部総会は、急遽、コロナ対応のため人数を縮小して実施しました。支部総会は、その後3年間、対面で実施することは叶わず、書面開催方式で行いました。

当時はコロナへの対応とその先行きが分からない状況で活動の自粛を強いられ、忸怩たる思いの中、大学の方針を守るしかありませんでした。また、大学の講義が対面からオンラインに軒並み変わる中で、大学剣道部への支援活動では、オンラインミーティング等で学生を励まし、モチベーションの維持を図り、しばらくコロナが小康状態になり、稽古が可能な時期にはOB・OGができる限り参加しました。

その中で、関東予選を勝ち上がり、全日本学生剣道個人戦に出場した学生がいたことが、OB・OGや部員の励みとなりました。全日本出場の前日でも、OB・OGはPCR検査陰性証明書のある者以外は学内に入れず、出来ることの中で頑張るしかないことを記憶しています。

剣道は、お互いの身体接触が避けられない対人競技で、体当たりや接近した状況(鏝迫り合い)で声を出し氣勢を示すこともあります。コロナ禍の影響で、剣道の試合規則・審判規則(ルール)にも変化がありました。シールド・マスク着用、鏝迫り合いの発声禁止と時間制限など…

このような状況の中で剣道が好きな学生が入部し、なんとか剣道部を存続することができました。[新入生歓迎会][幹部交代式][卒業生送別会]の3つのイベントは、オンライン会議で行った年もありました。



[2020年11月幹部交代 東大宮]

とくに、合宿は最後まで制限があり、実施することができませんでした。ようやくコロナが落ち着いた時期に、合宿に代わるものとして、東大宮第二体育館で3日間の午前・午後の2部稽古を行い、汗を流しました。しかし、第二体育館で大きな車座になり 黙食の弁当が味気なかったことを思い出します。



[2022年8月夏季集中稽古 東大宮]

この3年間、色々なイベントをできる限りこなし、ギリギリ伝統を引き継ぐことができた・・・思いたい。顧問の石渡先生の強力なサポートと、安達師範及び全OB・OGの支援の賜物であると感謝しています。

コロナ禍が去り、剣道部は入部者が増えました。2、3年生から入部する学生もいます。今年令和6年(2024年)はこれまでになく入部者が多い年となりました。

東大宮の第二体育館は武道専用として昭和62年に建設され、剣道部、柔道部、空手道部は田町校舎の武道場から移転しました。当時の剣道部は部員も少なく、1階半面で毎日稽古に勤しんでいましたが、今年はとくに部員数も増えて手狭になっており、嬉しい悲鳴です。

コロナ禍が落ち着き、稽古やOB会活動が普通に行えるということに今は喜びを感じています。



[創部60周年式典・伊藤師範就任30周年(2019年11月23日) 豊洲校舎学食]

新任教員紹介

基幹機械コース 橋村 真治

この度、工学部の課程制移行に伴って、機械機能工学科から機械工学課程 基幹機械コースの所属になりました橋村真治と申します。

同窓会の皆様には、これからお世話になることが多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



まず、私の自己紹介をさせていただきます。私は、福岡県久留米市出身で、久留米高専から豊橋技術科学大学、九州大学大学院に進学した後、三菱重工業株式会社に2年間勤務しました。その後、母校である久留米高専にて17年間教育研究を行い、11年前に縁あって芝浦工業大学工学部機械機能工学科に入職致しました。



私の専門分野は、材料力学、材料強度学、設計工学であり、課程制移行後の主な担当科目は、材料力学と材料強度学になります。これまでには、材料力学や材料強度ばかりでなく、機械要素や機械設計、機械製図なども担当してきました。

私の研究室では、材料力学をベースとして、ねじ締結の締付け管理法からゆるみ、疲労現象に至るまで、主にねじ締結に関する一連のテーマについて研究を行っています。最近では、鋼製ボルトばかりでなく、アルミニウム合金製ボルトやマグネシウム合金製ボルト等の非鉄金属製ボルトの締結特性、疲労特性に関する研究や、金属製薄板を高速で接合する高速打釘接合に関する研究も行っていきます。私の研究室では、「自ら使う装置は自ら作る」ことを原則に、学生と一緒にものづくりから、新しい現象理解の解明に努めています。

それでは、私の研究室で行っているねじ関連の研究テーマについて、簡単に紹介させていただきます。ねじを締結する場合、最も重要なパラメータである締付け軸力を直接管理することは通常できません。したがって、締付け軸力の代わりに、締付けトルクなどを管理して締付けます。トルク法締付けでは、ねじ部と座面部の摩擦係数を介して締付け軸力と一対一の関係にある締付けトルクを管理して締付けを行いますが、ねじ部と座面部の摩擦係数は極めてばらつきが大きく、また大きく変動します。その結果、締付けトルクを正確に管理したとしても、ねじ部と座面部の摩擦係数の安定化に対するケアを行わなければ、目標値に対して $\pm 20\% \sim 50\%$ もばらつきと言われていています。私の研究室では、ねじ部と座面部の摩擦係数のばらつきや変動の原因の究明、およびその安定化対策について研究を行っています。また締付け後の定期検査において、ねじがちゃんと締まっているのか？を調べることは、保守管理において極めて重要です。一方、打音検査などでは正確な締付け軸力を測定することはできません。私の研究室では、締付け後の締付け軸力を測定する方法を提案し、締付け軸力検出レンチの開発を行っています。

最近では、ねじ締結体において最も深刻な問題であるにも関わらず、まだまだ不明な点が多いねじのゆるみや疲労破壊についても、新たなアプローチにより研究を行っています。今まで気が付かなかったゆるみ現象やねじ特有の疲労特性を明らかにし、世の中のねじ締結体の破損に起因した事故の防止に寄与できればと考えています。

最後に、私の研究室では、学生のモチベーションアップのために他大学との合同ゼミを例年行っています。昨年、長岡技大、千葉大、東北大と行った合同ゼミの写真を示しています。学生は、日中研究発表と研究に関するディスカッションを行い、夜は気が済むまで人生に関するディスカッションを行っていました。



新任教員紹介

基幹機械コース

青木 孝史朗

同窓会関係者の皆様、はじめまして。本年4月に機械機能工学科から基幹機械コースへ転籍致しました青木孝史朗と申します。



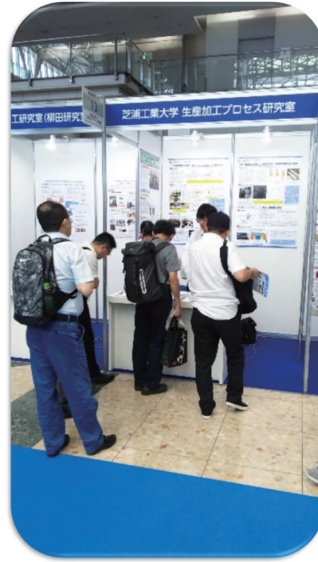
芝浦工大へは2006年4月に機械工学第二学科へ着任し、「生産加工プロセス研究室」を構えました。初年度は大宮キャンパス勤務であり、初年度末に豊洲へ引っ越し、更に小川誠先生が退職された後、実験室を譲り受けて現在に至っています。

専門は材料加工です。塑性加工を中心としております。小川先生の実験室を引き継いだ縁もあり、切削も少々、また接合も行っております。

以下、具体的な研究テーマをご紹介します。

- ①大ひずみ加工による材料創製と二次加工性：大ひずみ加工としてECAP (Equal Channel Angular Pressing) を採用し、低摩擦状態でアルミニウムやステンレス鋼の微細材を製作しています。これらを素材として、耐食特性・疲労特性などの諸特性を調査し、二次加工性を評価しています。
- ②二次元切削による材料特性値の測定方法の開発：引張試験などでは容易に求められないひずみ速度感受性指数(m値)を二次元切削時に得られる切屑形状から求める方法を開発しています。この手法をより汎用的に運用できるための技術や画像解析アプリケーションの開発を進めています。
- ③マシニングセンターを用いたインクリメンタルフォーミング：小川先生より引き継いだ装置の一つに森精機製のマシニングセンター CV-500があります。本来のNCフライス加工だけではなく、型を必要としない板金加工を実現するインクリメンタルフォーミングに注目して実験を行っています。このインクリメンタルフォーミングは通常のプレス加工よりも成形性が良いことが知られており、その変形挙動の解明を行っています。
- ④最後にフライス盤を利用した摩擦攪拌接合FSW (Friction Stir Welding) です。FSWは溶融接合と異なり、母材組織を溶かさずに接合する固相接合の一種です。新幹線の車体や各種アルミニウム製車両の製造技術として実用化されております。この手法を、微細組織を有するECAP材へ適用し、素材の特性をできる限り損なわない様に接合する方法を検討しております。

いずれのテーマも研究室でのモデル実験などによる解析・分析結果を用い、実機における製品製造プロセス等に於いて望まれる材料特性への最適化を実現する加工・製造工程の開発を研究室の目的として活動しております。学生達にも実社会に貢献できる研究成果を生む、その様な活躍の場を与える研究室を目指しています。



MF-TOKYO
(塑性加工系見本市)

研究室には(2024年7月現在)教員1名(青木)、社会人博士課程1名、修士5名、学部10名が在籍し、日々研究活動に勤しんでいます。昨今の社会情勢やコロナ禍の影響などもあり、研究室総出で飲み会や旅行などのイベントを行う機会が減りましたが、ようやく里帰りゼミを開催できるようになりました。研究活動以外の活動においても、学生達には研究室での時間を十分に楽しんでもらいたいと考えています。

残り8年ほどの在職期間ですが、基幹機械コースに在籍する学生達と共に、教育・研究活動を続けて参りたいと存じます。今後とも、よろしく願いいたします。



研究室でアサヒビール茨城工場 見学

株式会社 日本環境設計

代表取締役社長

加藤 善次郎

(設備設計一級建築士、建築設備士)

昭和55年(1980年)卒

〒231-0028 横浜市中区翁町2-9 (ファミ横浜本社ビル5階)

TEL: 045-212-2757(代) FAX: 045-212-2758 E-mail: kato@jtd-me.jp

2023 年 アンケートの報告

昨年、会報を郵送した際にご協力頂いたアンケートについて、結果を報告します。

<アンケートの目的>

会報の発行を、郵送の他にホームページの活用を検討するため、皆様の希望を確認させていただくために行いました。

<アンケートの方法>

「返信用ハガキ」と「Googleフォーム」で回答用紙を準備して、会報送付時にアンケートの説明と上記いずれかで回答して頂く様に依頼しました。

回答項目は、整理番号、氏名、アンケート(4択)他、近況を連絡頂く記入欄を設けました。

<結果>

会報送付数：4368通

住所不明による不達：408通

返信数：715通(内：訃報107通)

アンケート回答：608名

質問：会報の送付方法を4択で回答してください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1：今まで通り郵送 | ：189名 |
| 2：葉書で通知し、ホームページで閲覧 | ：83名 |
| 3：メール通知し、ホームページで閲覧 | ：286名 |
| 4：他(希望無しや未回答、不要など) | ：50名 |

<アンケートの所感>

住所が不明な方が多い印象です。住所やメールアドレスの変更があれば、メールでお知らせください。

返信数は全体の15%で少なめですが、殆どの方がアンケートにご協力いただけました。同窓会に関心を持って頂いている事に感謝いたします。

アンケート結果、郵送を希望される方が31%、ホームページで閲覧いただける方が61%ということも把握できました。従来通り郵送での発行を行いながら、ホームページでの閲覧にも力を入れていきたいと思っております。その他、メールアドレスをご連絡頂いた方が328名いらっしゃいました。

今年の会報発行から、発送数確定に活用させていただきました。この他、同窓会にご要望などありましたら、機械工学科同窓会事務局に、ご連絡ください。

shibaura_machime@yahoo.co.jp

機械工学科同窓会 ホームページ

機械工学科同窓会は、会員の方への情報発信として、以下のホームページの運用をしています。過去の会報や同窓生の近況なども掲載しています。

会報が郵送で届く方も、機会があれば、ぜひ閲覧してみてください。

芝浦工業大学機械工学科同窓会ホームページ

<https://shibaura-it.tokyo>



校友会のホームページでも紹介しています。

芝浦工業大学校友会機械工学科同窓会

<https://www.shibaura-koyu.jp/sibu/shibu.php?id=425>



機械工学科同窓会は、日本中、世界中に会員がいます。ぜひ、ホームページもご覧いただき、同窓生や大学の様子をご確認ください。

小山内重工

(空調機器、ごみ焼却場他)

代表 小山内 啓二
昭和43年(1968年)卒

〒332-0022 埼玉県川口市仲町6-2
TEL:048-255-2273 FAX:048-255-6202
携帯 090-2474-1457
スマホ ojk3osa@docomo.ne.jp

夏目 光尋

昭和34年(1959年)卒

〒274-0815
千葉県船橋市西習志野3-17-5
TEL・FAX: 047-465-3157

森光 啓明

昭和34年(1959年)卒

〒132-0035
東京都江戸川区平井6-29-3
TEL: 03-3612-0016
E-mail: keimei-morimitsu@mb.point.ne.jp

昭和63年

体育会本部OB

robartbrown2003-0401@yahoo.co.jp

今村研究室 卒業生有志

昭和48年卒業有志

高木	光一
佐野	茂彰
赤坂	邦雄
藤本	直

長谷川健嗣

昭和57年(1982年)卒

株式会社 吉田製作所

〒130-8516 東京都墨田区江東橋1-3-6
TEL: 03-3631-2191 FAX: 03-3633-9427
E-mail: hasegawa@yoshida-net.co.jp

2024年度同窓会事業計画

総会・懇親会 2024年10月12日(土)

定例幹事会

- 第一回 4月6日 豊洲
- 第二回 7月20日 豊洲
- 第三回 11月9日 豊洲
- 第四回 1月25日 豊洲

2024年度総会・懇親会開催のお知らせ

日時：2024年10月12日(土)

13:00～17:00(12:00 受付開始)

場所：芝浦工業大学 豊洲校舎部本棟2301教室

式次第 I. 総会：13:00～13:40

II. 特別講演：13:50～14:50

講師：河田先生

テーマ：未定

III. 懇親会：15:00～17:00

交流棟3階カフェテリア

懇親会費：5,000円(同伴家族は無料)

当日ご持参ください

出席確認：総会に参加される方は同封のはがきに必要事項を記入し切手を貼布して投函をお願いします。なお欠席の方でも住所変更や近況などをお寄せください。

総会にオンラインで参加される方は、e-mailにてご連絡ください。参加URLをご連絡します。

E-mail：shibaura_machine@yahoo.co.jp



2023年度総会(2023年10月)

卒業生の各賞受賞者

本年度の学位記授与式は例年と異なり、学部生と院生の卒業生が一堂に会し式典が始められ、各賞の受賞者が顕彰された。各人への学位記授与は式典の後各々の研究室に分かれ行なわれた。

【学部生】

卒業生人員116人内女性7人

総代：小幡祐莉

日本機械学会畠山賞：小幡祐莉、内海航大

有元史郎記念賞：土井仁智

弓削政隆記念賞：峯田利奈子

【院生】

卒業生人員：44人うち女性5人

総代：深澤悠仁

有元史郎記念賞：藤波虎太郎

機械工学専攻専攻賞：五十嵐響、長島きりの

機械工学科同窓会年会費納入のお願い

お願い

機械工学科同窓会の運営は会員の年会費によって支えられています。この3年ほど会費収入が落ち込んでいます。

昨年振込を忘れた方、あまり振り込みをした記憶のない方、よろしく願いいたします。

同窓会年会費：3,000円

納入は以下のいずれかの方法をお願いします

- ・銀行振込(下記口座)
- ・同封の振替用紙による郵便局で送金(郵送にてお受け取りになった方)
- ・総会当日に現金納入

金融機関名：三井住友銀行 支店名 三田通

支店番号：623 口座番号7952312

名称：シバウラコウギョウダイガクキカイコウ
ガッカドウソウカイチョウタカギコウイチ

※期間に関係なく年会費又は寄付のお振込みを受付けております

※氏名、大学卒業年及び整理番号を払込取扱票に記載してください

※住所変更などにつきましても、事務局までE-mail等にてご連絡ください

機械工学科同窓会役員

名誉会長 小口 泰平

相談役 今村 均

顧問 吉野 巖

顧問 佐野 茂彰

会長 長谷川健嗣

副会長 高木 光一

副会長 三好 達朗(事務局長兼務)

副会長 八幡 真純(会計担当)

副会長 赤坂 邦雄(会計担当)

会計監査 福島 敏彦

会計監査 会田 祐一

事務局

〒182-0035 東京都調布市上石原 3-33-26

サンヴェール調布多摩川 303 三好達朗

TEL 090-2328-7770

E-mail shibaura_machine@yahoo.co.jp

<編集委員>

高木光一、今村均、吉野巖、橋本雄吉、佐野茂彰、赤坂邦雄、藤本直、長谷川健嗣、三好達朗、会田祐一、進木正博